

# TSUDOI

## スタンダードプラン 月次分析レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

### 本レポートコンテンツ

#### ◆TOP銘柄分析ガイド

TSUDOIで集計・分析する、複数の有名格付け機関によるスコア評価

#### ◆『狙い目：中堅銘柄』発掘ガイド


仮想通貨業界全体のトレンド銘柄分析

#### ◆『大穴：新規銘柄』発掘ガイド

VC出資先分析に基づく、注目新規銘柄情報、CMC新規リスト銘柄分析

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。

 **とは** TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



有料  
レポート

# 2024年4月末～5月末 仮想通貨業界市場動向

## ◆ 業界全体の時価総額 推移

2024年4月末から5月末にかけての仮想通貨市場は全体的に上昇傾向にありました。4月末の時価総額は約375兆円（2.38兆ドル）でしたが、5月末には約406兆円（2.58兆ドル）まで上昇し、この1ヶ月で市場全体が約8.27%の上昇を記録しました。

また、基軸通貨であるビットコイン（BTC）の価格動向も同様に、1BTCあたり63,856.20ドルから68,360.67ドルと推移しており、約7.05%の価格上昇が見られました。

右図coinglassの情報から、2021年以降、毎年5月のBitcoin価格は下落傾向にありましたが、今年は上昇で着地する見込みとなります。



※TokenInsight調べ

## Bitcoin Monthly returns

BTC	ディレクターズ (%)	連次リターン (%)	月次のリターン (%)	四半期リターン (%)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2024	+0.62%	+43.95%	+16.81%	-14.76%	+12.44%											
2023	+39.63%	+0.03%	+22.96%	+2.81%	-6.96%	+11.96%	-6.02%	-11.29%	+3.91%	+28.52%	+8.81%	+12.18%				
2022	-16.68%	+12.21%	+5.39%	-17.3%	-15.6%	-37.28%	+14.8%	-13.88%	-3.12%	+5.56%	-14.23%	-3.9%				
2021	+14.51%	+36.78%	+29.84%	-1.98%	-35.31%	-5.95%	+18.19%	+13.8%	-7.03%	+39.92%	-7.11%	-18.9%				
2020	+29.95%	-8.6%	-24.92%	+34.26%	+9.51%	-3.18%	+24.03%	+2.83%	-7.51%	+27.7%	+42.95%	+44.92%				
2019	-8.58%	+11.14%	+7.05%	+34.36%	+52.38%	+26.67%	-6.59%	-4.6%	-13.38%	+10.17%	-17.27%	-5.15%				
2018	-25.41%	+0.47%	-32.85%	+33.63%	-18.99%	-14.62%	+20.96%	-9.27%	-5.98%	-3.8%	-36.57%	-5.15%				
2017	-0.04%	+23.07%	-9.0%	+32.71%	+52.71%	+10.45%	+17.92%	+65.32%	-7.44%	+47.81%	+53.48%	+38.89%				

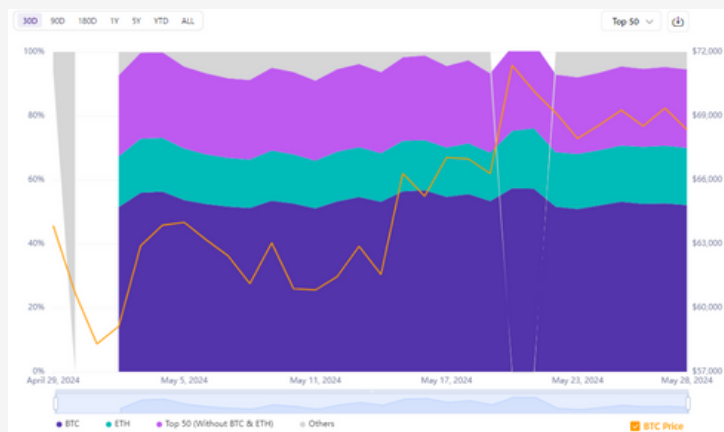
※coinglass調べ

## ◆ ドミナンス推移

2024年4月29日から5月28日までの仮想通貨市場におけるBTC、ETH、Top 50（BTCとETHを除く）、その他の通貨（Top 50以降）の市場支配率の推移を要約します。

ビットコイン（BTC）の市場支配率は、4月29日に52.71%から始まり、5月20日には57.39%まで上昇しました。しかし、月末には52.15%に減少し、相対的に安定した推移を見せています。

今月の重要なイベントとして5月24日早朝にEthereum 現物ETFの承認がありました。特に、21日にETF専門家が承認の可能性が高まったことを言及しており、ETH価格の高騰が記録されています。同日に、ビットコインとイーサリアムの合計市場支配率が76.08%に達しています。



※4/30～5/2のデータは未集計となります。

日付	BTC市場割合	ETH市場割合	Top 50市場割合 BTC & ETHを除く	その他
2024-04-29	52.71%	16.46%	24.69%	6.15%
2024-05-02	51.49%	15.87%	25.39%	7.25%
2024-05-21	57.22%	18.86%	21.11%	2.81%
2024-05-28	52.15%	17.87%	24.57%	5.41%

※TokenInsight調べ

# GOODマーク付き銘柄 2024年 5月集計結果

## トップ銘柄 分析ガイド 5/29

一般に、BTCの価格が下がる際には、アルトコインはBTCよりも大きく値下がりすることが多いです。これはアルトコインのリスクが高いことを意味します。しかし、市場が上昇する時には、アルトコインはBTCを上回る値上がりを見せることがあります。このため、BTCが下落している時にアルトコインのパフォーマンスを月単位で評価すると、成績が悪く見えることがあります。





5月1・2週目~5月4週目までの週次レポートにて選定された9つのTOP銘柄の中から7つのTOP銘柄にGoodマークを付与いたしました。






※この評価は、毎週金曜日に配信される週次レポート作成時または、月次レポート作成時に、過去に配信された銘柄の価格動向を記録した情報を基に行われます。

今月は1か月を通して、BTC価格が▲7.05%上昇しており、アルトコイン価格もBTCに引っ張られる形で全体的に上昇傾向にあります。

今月のGoodマークTOP銘柄の成果は、6銘柄中5銘柄が価格高騰、さらにはBTC価格の推移よりも高パフォーマンスを出した銘柄は、3銘柄ほどありました。

## TSUDO I分析レポート マーク銘柄一覧

レポート掲載日付	プロジェクト	上昇率
5/10	 Toncoin	5.16%(翌週比較) 
5/10	 Cardano	1.47%(翌週比較)
5/17	 NearProtocol	-1.55%(翌週比較)

レポート掲載日付	プロジェクト	上昇率
5/17	 The Graph	10.42%(翌週比較) 
5/24	 Ethereum	1.04%(翌週比較)
5/24	 ChainLink	9.57%(翌週比較) 

『★』マークは、同時期のBTC価格の増減と比べ高いパフォーマンスを出していた銘柄に付与しています。

# GOODマーク付き銘柄 2024年 5月集計結果

## 『狙い目：中堅・大穴：新規銘柄』発掘ガイド 5/29





5月2週目～5月4週目までの週次レポートでは、9つの狙い目：中堅銘柄と、1つの大穴：新規銘柄を詳細に分析しました。

※この評価は、毎週金曜日に配信される週次レポート作成時または、月次レポート作成時に、過去に配信された銘柄の価格動向を記録した情報を基に行われます。

今月は、1カ月を通して、**BTC価格が▲7.05%上昇**しており、アルトコイン価格もBTCに引っ張られる形で全体的に**上昇傾向**にあります。

『狙い目：中堅・大穴：新規銘柄』に掲載した中堅銘柄9つ、新規銘柄1つの中から、TSUDOチームの方では、2銘柄ほど中長期的な成長の可能性を持つと判断し『👍』を付与しております。

また、**2銘柄中2銘柄が、BTC価格の推移よりも高パフォーマンスを出しております。**

レポート掲載日付	プロジェクト	上昇率
4/10	 Metis	▲30.71% (翌週比較) 
4/17	 BounceBit	▲104.87%(翌々週比較) 

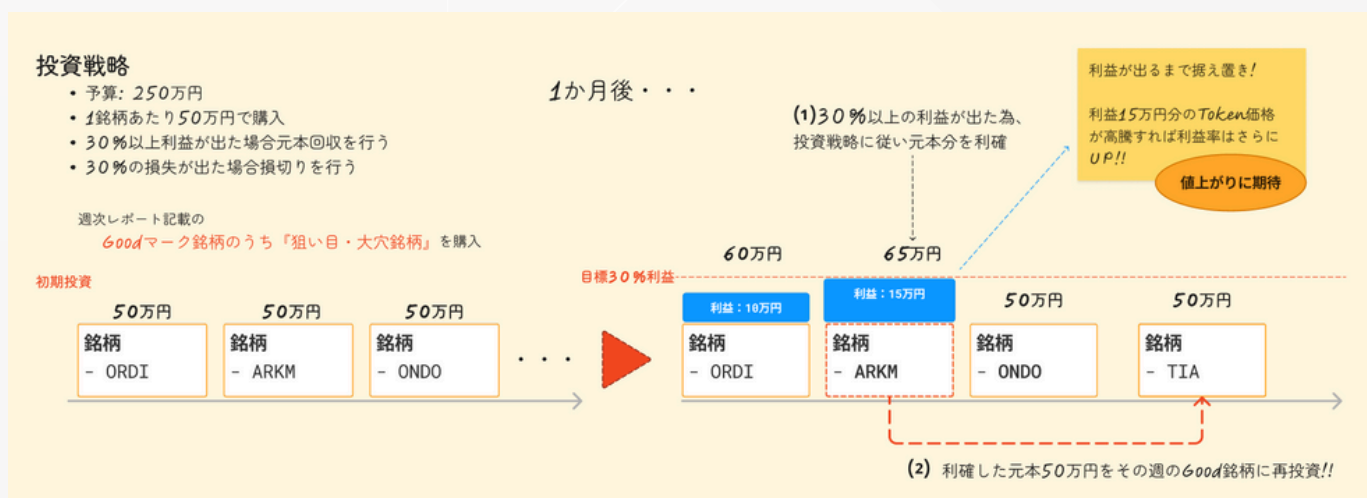
### 一口メモ

直近の**大穴：新規銘柄のトークン価格が高騰しづらい環境にあること**が業界全体の課題となっています。強気相場を目前として、VCから高評価を受けたプロジェクトは少ないトークンで多くの資金を調達し、上場時に供給されるトークンが少量な場合、短期的に価格が上昇しやすい環境が作られます。市場に出ていないトークン価格も上昇するため長期的にはプロジェクト本来のトークン需要の拡大ペースを上回る売り圧が発生し、期待されたプロジェクトのトークン価値が上昇しづらくなります。プロジェクトは、VCから高評価を得て少ないトークンで多くの資金を確保することが重要ですが、過剰な評価が市場に負担をかけることが課題です。

# GOODマーク付き銘柄 有効的な投資戦略紹介

下記シミュレーションは、週次分析レポート発行日に『👍』マークを付与した狙い目銘柄、大穴銘柄を下記投資戦略に基づき50万円ずつ購入&売却を繰り返し、決められた元本内で再投資を行うシミュレーションとなります。下記のように投資戦略上のルールを作成し投資をすることも、リスク管理と効率的な資産運用を実現する手法の一つとしてご覧ください。

## 投資条件の概要



※予算はご自身で設定していただき、資産を分割し5銘柄分の投資ができるよう調整していただければと思います。

## 2023年11月から始めた場合

投資実績：利回り: 117.69%(元本を含めない利益)












- 投資期間: 2023年11月～2024年5月
  - 利益: 3,992,155.71円 (損切りによる損失: ¥1,050,000円)
  - 利回り: 117.69%(元本を含めない利益)
    - 利確された銘柄数: 通算9銘柄
    - 損切りされた銘柄数: 通算7銘柄
- 過去16の投資銘柄
  - ORDI, Celestia, Blur, Arkham, Terra Classic, Ethereum Name Service, Xai, Manta Network, Ondo, Starknet, Manta Network, Metis, Arkham, Omni Network, Merlin Chain, BounceBit
- 現在元本投資中の銘柄
  - Metis

# 5月週次レポート掲載 TOP銘柄 継続分析ガイド

## トップ銘柄 分析ガイド 5/29

この分析ガイドでは、5月の週次レポートにて記載された価格が急上昇したTOP銘柄に焦点を当てています。それぞれの銘柄について、レポート掲載時から月末までの時価総額ランキングの推移や、複数の海外格付けサイトの情報を基にしたTSUDOI独自の評価を紹介しています。これらの通貨は、100点満点での信頼性スコアとして、下記一覧の右側に記載されています。

### TSUDOI週次分析レポート掲載銘柄一覧

調査日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	直近30日間の 値上がり率	トークン価格 (5/29現在)	取引量ランク/24H	スコア
5/9	#9→#9	 <b>Toncoin</b> 	Layer1	▲21.65%	¥1,024.67	#35→#58	65.95(+0.43)
5/9	#10→#11	 <b>Cardano</b> 	Layer1	▲0.87%	¥72.40	#17→#30	66.03(+0.23)
5/9	#38→#33	 <b>Kaspa</b>	Layer1	▲20.50%	¥22.00	#77→#202	53.84(-0.37)
5/16	#8→#9	 <b>Toncoin</b> 	Layer1	▲21.65%	¥1,024.67	#23→#58	65.95(+0.43)
5/16	#17→#17	 <b>NEAR Protocol</b> 	Layer1	▲11.37%	¥1,213.31	#20→#22	70.84(+0.09)
5/16	#41→#38	 <b>The Graph</b> 	AI & Big Data	▲24.60%	¥49.87	#71→#76	68.25(+0.16)
5/23	#2→#2	 <b>Ethereum</b> 	Layer1	▲20.04%	¥604,344.39	#3→#3	81.64(+0.13)
5/23	#16→#13	 <b>ChainLink</b> 	Platform	▲31.81%	¥2,875.33	#22→#20	75.49(+0.10)
5/23	#22→#20	 <b>Uniswap</b>	DEX	▲45.63%	¥1,758.88	#44→#35	75.85(+0.24)

## 月次レポート及び、週次レポートの使い方について

今月の週次レポートにおけるGoodマークが付与されたTOP銘柄にて、これらの銘柄が、**なぜ話題を集めているかを月次及び週次レポートの考察をご覧ください、投資家の皆様がより深く理解するための分析情報として**レポートを配信させていただいております。

## トップ銘柄 スコア調査ガイド

スコア調査ガイドでは、海外の様々な格付けサイトから情報を集めて、TOP銘柄を評価しています。これらの格付けサイトは、プロジェクトの進行計画と現状、トークンの経済的側面、プロジェクトチーム、ビジネスパートナーや投資家、エコシステムの成長、トークンの市場パフォーマンス、技術基盤とセキュリティ、全体的な市場での成績、技術の採用状況など、多面的な観点からの情報を提供しています。

TSUDOIのスコアは、これらのサイトから収集した情報を元に、**各プロジェクトの全体的な強みとリスクを評価し、100点満点でスコア**を付けます。このスコアを前月のデータと比較し、総合的な評価をおこなっています。

### スコアの読み方

トップ銘柄の仮想通貨は、このスコアが安定しており、**4点以上の大きな変動がある場合は、そのプロジェクトの健全性を再評価する指標**として使っていただければと考えています。

### 5月の時価総額TOP50銘柄の本スコア推移

上記、基準にて5月の調査を行ったところ、**今月は、大きな変動を伴うトークンはございませんでした。**

※TSUDOI分析レポートで過去に掲載した銘柄のスコアを調査しております。

## 5月の注目イベント

米証券取引委員会（SEC）は2024年5月24日(日本時間では早朝)、現物型イーサリアムETFの上場を承認しました。これはビットコインETFに続くもので、ニューヨーク証券取引所やナスダックなどの主要取引所で取引可能になります。承認後、イーサリアムの価格は一時的に下落後回復し、現在は約3,806ドルで取引されています。

また、審査が承認された状態ではありますが、ETFのローンチにはもう少し時間がかかります。専門家は、実際に取引が始まると新たな資金流入が予想され、価格上昇の可能性が高まると見ているとのこと。

2024年1月 ビットコインETF承認後に、多くのプロ投資家やファンドからの資金流入があったように、イーサリアムも同様の動きがあるのではないかと期待されています。

※3週目の週次レポートにも同様の文章を記載しております。













# 5月週次レポート掲載 中堅銘柄 継続分析ガイド

## 『狙い目：中堅銘柄』 発掘ガイド 5/29

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）の時価総額ランキング50～400位に位置する『狙い目：中堅銘柄』に焦点をあてた情報を提供するものです。週次レポートに記載いたしましたCMCサイト内、検索トレンド中堅銘柄に関する月末時点での経過調査となります。

### 週次 検索トレンドの経過調査一覧

作成日5/29

調査日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	取引量 ランク/24h	直近1カ月の トークン価格上昇率
5/9	#186→#167	 <b>Metis</b> 	Layer2	#399→#278	▲16.00%
5/9	#244→#310	 <b>Lisk</b>	Layer2	#109→#466	▼1.55%
5/9	#367→#393	 <b>Moonriver</b>	Layer1	#210→#549	▲18.63%
5/16	#88→#95	 <b>EOS</b>	platform	#59→#66	▲3.68%
5/16	#244→#310	 <b>Lisk</b>	Layer2	#117→#466	▼1.55%
5/16	#314→#363	 <b>Powerledger</b>	platform	#210→#337	▲0.96%
5/23	#89→#95	 <b>EOS</b>	platform	#66→#66	▲3.68%
5/23	#166→#171	 <b>Biconomy</b>	platform	#211→#392	▲21.91%
5/23	#183→#181	 <b>Loopring</b>	DEX	#258→#239	▲13.12%



上記『狙い目：中堅銘柄』に関する最新のトークン価格への影響が予想される話題についての調査結果をPick Up!!

## Metis : MTIS

※4月4週目、5月2週目の分析レポートで記載した注目要因と同様の要因で継続的に検索トレンド上位にランクインされています。

### 注目ポイント：Ethereum ETF承認で注目が集まる MetisとENKI Protocol

本銘柄は、5月2週目に配信され、4週目には40%の値上がりを見せ、その後も価格を維持しています。これは、Ethereum ETFの承認ニュースによりEthereumのレイヤー2分野への期待が高まり、特にMetisのシーケンサーマイニングがセキュリティ、分散化、インセンティブの整合性を強化し、ユーザーがトークンを使ってマイニング報酬を得る新たな収益源を提供する取り組みとして注目されたためです。

また、MetisのLiquid Staking Token (LST) プロトコルの一つであるENKI Protocolは、Metis上で流動性ステーキングを提供しており、直近1カ月でTVL (Total Value Locked) が43%増加しています。この実績は、ユーザーの信頼と人気が高まっている証拠であり、投資家にとってENKIおよびMetisの成長と安定性を期待できるサインとなります。




# 有名VCによる 資金調達最新情報分析

## 『大穴：新規銘柄』 発掘ガイド 5/27

2024年5月1日～5月27日までの期間において、仮想通貨業界における大手ベンチャーキャピタル (VC) の出資実績を詳細に調査し、大穴：新規銘柄を分析します。

今月の主な業界の資金調達プロジェクト数は124社となり、大手VCからの出資を受けたプロジェクトは34社となります。下記は大手VCから出資を受けた銘柄の中でTSUDOISTAFFが注目する3つのプロジェクトとなります。

※大手VCについては投資資金の大きいTOP20を対象としております。

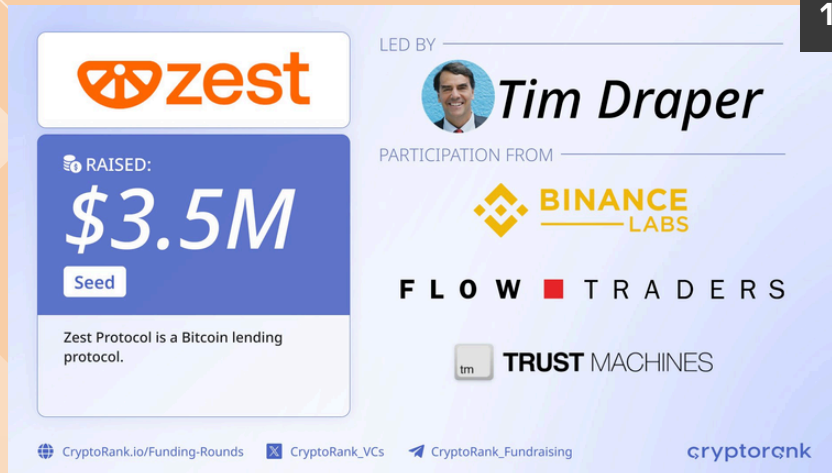
プロジェクト名	カテゴリー	調達ラウンド	金額	大手VC一覧	融資日	注目度 (3点満点中の評価)
 <u>Zest Protocol</u>	DeFi	シードラウンド	\$3.50M	TimDraper BinanceLabs Flow Traders...	May 13, 2024	事業モデル ★★★(3.0) メンバー ★★(2.0)
 <u>UXUY</u>	DeFi	プレシリーズA	\$7.00M	BinanceLabs UTXOManagement JDI...	May 09, 2024	事業モデル ★★(2.0) メンバー ★★(2.0)
 <u>Farcaster</u>	Web3	シリーズA	\$150.00M	Paradigm a16zcrypto Haun Ventures...	May 21, 2024	事業モデル ★★(2.0) メンバー ★★(2.0)





### 5月の資金調達事情について

今月のブロックチェーン業界では、資金調達総額が **前月と同様に約9.4 billion USD (約1.4兆円) となり、先月の7.8倍**の資金が集められています。中でも、5/17 にBlackRockを始めとする投資家から資金調達を行ったCoreWeaveというプロジェクトが、7.5billion USDの調達を行っている点が特徴的です。資金調達の案件数は減ってきていますが、依然としてインフラストラクチャー分野のプロジェクトが最も多く資金を集めています。次に多いのは、先月までトップだったDeFiではなく、その他の分野とWeb3分野に特化したプロジェクトとなり、業界内の様々な分野に資金が流入していると言えます。

# Zest Protocol

分野：DeFi,  
Bitcoin Ecosystem  
◆ トークン未発行




 LED BY  **Tim Draper**  
 PARTICIPATION FROM  **BINANCE LABS**  
**FLOW TRADERS**  
 **TRUST MACHINES**  
 RAISED: **\$3.5M**  
 Seed  
 Zest Protocol is a Bitcoin lending protocol.  
 CryptoRank.io/Funding-Rounds | CryptoRank\_VCs | CryptoRank\_Fundraising | cryptorank

## 01. 概要 Bitcoin経済圏のレンディングサービス

Zest Protocolはビットコイン特化のレンディングプロトコルです。ユーザーがBTCをオンチェーンで貸し出し、利回りを得ることを可能にします。ユーザーはBTCをZest Protocolに預け入れ、その後レンディング等の利回りを生む活動に参加できます。現在、Stacksメインネットで稼働中のStacksマーケットを通じてサービスを提供しています。ビットコインホルダーがBTCを活用して利益を生み出すことを目指し、ビットコインDeFiの未来を切り開くことを目指しています。

## 02. 運営メンバー

### 創設者：Tycho Onnasch氏

Tycho Onnasch氏は、Zest Protocolの創設者であり、14歳でビットコインに触れ、オックスフォード大学で歴史と政治を学びました。在学中に技術と金融に関する討論を主催し、その後Deedmobを設立、ボランティア活動を支援する技術を開発しました。Deedmobはビル&メリнда・ゲイツ財団からも評価されました。2020年にはForbesの「30 Under 30 Europe」に選ばれ、現在はZest Protocolを通じてビットコインの分散型金融を推進しています。

### リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★★(3.0)

Bitcoinをベースとした貸付モデルは、Ethereumや他のブロックチェーンで既に実現しているDeFiの概念をBitcoinにもたらすものです。これにより、業界全体の資産額の過半数を占めるBitcoin保有者がその資産をより有効に活用できるようになるため、その将来性は非常に大きなものとなります。また、出資者に、Skypeやテスラ、Coinbaseの初期投資を行ってきたTim Draper氏が含まれる点も注目を集める一つの要因となっています。

メンバー ★★(2.0)

Tycho Onnasch氏の経歴は、Zest Protocolを推進するためのリーダーシップを備えていることを示しています。彼の技術的な知識と社会的な影響力を組み合わせたアプローチは、Bitcoin DeFiの発展において重要な役割を果たすと期待されています。彼のリーダーシップの下で、Zest ProtocolはBitcoinの資産運用方法を革新し、より広範な採用を促進する可能性があります。ただし、Tycho Onnasch氏は現在、Zest Protocolを通じて分散型金融（DeFi）に積極的に取り組んでいますが、これまでにDeFi分野の最前線で事業を行った経歴はありません。この点に留意することが重要です。

# UXUY

分野：DeFi, CrossChain

◆ トークン未発行

uxuy

RAISED: **\$7M**  
Pre-Series A

UXUY is a cross-chain liquidity aggregation protocol.

PARTICIPATION FROM

BINANCE LABS GBV CMS

NGC GSR Comma3

dewhales.capital

UTXO SatoshiLAB JDI

CryptoRank.io/Funding-Rounds CryptoRank\_VCs CryptoRank\_Fundraising cryptorank

## 01. 概要 透明性と効率性を追求した分散型金融のUXUY

UXUYは、革新的な分散型金融（DeFi）プロジェクトであり、複数のブロックチェーンをまたいだトークンスワップを可能にするクロスチェーン相互運用性ソリューションを提供します。ステーブルコインを基盤としたブリッジと高度な流動性集約技術により、ユーザーは迅速かつ低スリッページで取引を行えます。CertiKによる監査を受けたスマートコントラクトを使用し、最高水準のセキュリティを確保。さらに、GasPool機能によりガス代不要の取引を実現します。UXUYのプロトコルは、GameFi、SocialFi、NFTsなどのWeb3アプリケーションをサポートし、自律的な資産管理を容易にし、エコシステム全体での資産のセルフカस्टディを推進します。

## 02. 運営メンバー

### 主要メンバー：Kevin Como氏、Jordan L.氏、Max W.氏

UXUYの主要メンバーのKevin Como氏は、共同創設者兼技術リーダーで、スマートコントラクトの設計と開発で重要な役割を果たしています。彼は複数の成功したブロックチェーンプロジェクトに関与した経験があります。Jordan L.氏はビジネス開発とマーケティングを担当し、フィンテック業界での10年以上の経験を活かして、ユーザー基盤の拡大と市場展開に寄与しています。Max W.氏はプロジェクトマネージャーで、開発チームの調整とプロジェクトの進行管理を担当しています。彼はブロックチェーン技術とDeFiプロジェクトの実践的な知識を持ち、効率的な開発プロセスを確保しています。

### リサーチ担当のコメント

#### 事業モデル ★★(2.0)

流動性の集約とクロスチェーン相互運用性という強力な技術基盤を持っており、成長するDeFi市場において競争力を持つ可能性があります。また、直近の強気相場で多くの新規ユーザーが業界に流入していく中で、GasPool機能を用いて、ガス代が不要な仕組みを提供する点についてはユーザー体験を買われ注目が大きく集まる可能性があります。ただし、規制・技術的リスクを伴う分野となりますのでその点には留意が必要です。

#### メンバー ★★(2.0)

UXUYのコアメンバーはそれぞれの分野で専門知識と経験を持ち、プロジェクトの成功に貢献しています。Kevin Como氏はスマートコントラクトの設計、Jordan L.氏はビジネス開発とマーケティング、Max W.氏はプロジェクト管理に優れています。ただし、透明性のあるコミュニティ運営と法務規制対応の強化が必要です。

# Farcaster

分野：Web3, SNS

◆ トークン未発行



## 01. 概要 中央集権型ソーシャルメディアの代替としての『Farcaster』

Farcasterは、ブロックチェーン技術を基盤とした分散型ソーシャルネットワークプロトコルです。主な目的は、中央集権型のソーシャルメディアプラットフォーム（例：Twitter、Reddit）に代わるオープンで透明性の高いネットワークを提供することです。

Farcasterでは、ユーザーが自身のアカウントや関係性を所有し、異なるアプリ間を自由に移動できるため、プライバシーと自律性が強調されています。Farcasterのエコシステムにはさまざまなソーシャルアプリが含まれており、その中で最も著名なものがWarpcastというサービスがあります。

## 02. 運営メンバー

### 創設者：Dan Romero氏、Varun Srinivasan氏

Farcasterの創設者であるDan Romero氏はCoinbaseの初期メンバーとして5年間勤務し、マーケティングとビジネス開発に貢献しました。Varun Srinivasan氏はCoinbaseでエンジニアリングディレクターを務め、技術基盤の強化に尽力しました。彼らは共同でFarcasterを立ち上げ、ユーザーがデータと関係性を完全に制御できる分散型ソーシャルネットワークを提供することを目指しました。このプラットフォームは、中央集権的な管理なしでユーザーが自由に交流できる環境を提供しています。

### リサーチ担当のコメント

#### 事業モデル ★★(2.0)

Farcasterの事業モデルは、ユーザーのデータ所有とプライバシー保護を重視し、分散型ソーシャルメディアの需要に対応しています。Optimism上に構築され、ブロックチェーン技術を活用して検閲耐性とデータ所有を提供し、技術的安定性と法的透明性を確保しています。一方、Friend.techはエアドロップ後のトークン価格急落や流動性不足、SECの監視により、信頼性が揺らぎ、SocialFi分野の期待値を下げました。Farcasterはこれらの課題を踏まえ、信頼性と透明性を維持しつつ、ユーザー体験の向上を図る必要があります。

#### メンバー ★★(2.0)

Dan RomeroはCoinbaseの初期メンバーとしてマーケティングとビジネス開発に貢献し、強固なビジネススキルを持つが、ソーシャルメディアの直接経験が不足しているように見えます。Varun SrinivasanはCoinbaseのエンジニアリングディレクターとして技術基盤を強化し、技術面に優れていますが、ユーザーエクスペリエンスとマーケティングのスキルが必要です。この二人のスキルは補完的であり、Farcasterの成功に寄与しますが、マーケティング戦略の強化が課題です。

# 5月週次レポート掲載 新規銘柄 継続分析ガイド

## 『大穴：新規銘柄』発掘ガイド 5/29

2024年5月1日から5月29日までの期間において、CMCで新規リストされ、時価総額ランク50位から400位の間にある『大穴：新規銘柄』の月末時点での経過調査となります。

### CMC新規リスト銘柄

調査日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格 (掲載~5/29比較)	24時間 取引量ランク
5/16	#309→#273	 <b>BounceBit</b> 	Bitcoin Ecosystem	¥41,478,267,244	¥100.86 ▲97.53%	#28→#40

### Pick Up !

#### **BounceBit : BB**

※本銘柄は、5月3週目の週次レポートにて、『大穴：新規銘柄』としてGoodマークを付与している銘柄となります。

#### 注目ポイント：

5月3週目のレポート配信後直近で一時100%超の値上がりを見せました。このプロジェクトは、ビットコイン保有者がパッシブインカムを得るための方法を提供しており、最近発表された具体的なロードマップがその要因とされています。特に、CeFi（中央集権型金融）とDeFi（分散型金融）の統合を強調し、「CeDeFi」という新しい用語を作り出して革新的な金融ソリューションを目指しています。主な取り組みには、固定収益商品、過剰担保貸付、構造化金融商品が含まれています。

## 引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>
- TokenInsight：<https://tokeninsight.com/>

## 注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。

レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：[info@sigmainc.co.jp](mailto:info@sigmainc.co.jp)

ウェブサイト：<https://tsudo-i-platform.co.jp/>